



△第1展示室 テーマI「最終氷期に生きた人々」展示風景

令和6年度 国立歴史民俗博物館 特別共同利用研究員 募集

国立歴史民俗博物館は、日本の歴史と文化について先史・古代から近現代に至るまで総合的に研究・展示する博物館を有する大学共同利用機関です。大学院における教育的研究に協力するため、博士課程または修士課程に在籍する学生で、日本の歴史と文化に関連する分野の専攻者を「特別共同利用研究員」として受け入れ、必要な研究指導を行っています。

募集人員 若干名

応募資格 大学院の博士課程又は修士課程に在籍し、文献史学、考古学、民俗学および自然科学を含む関連諸学に関する分野を専攻する学生。

受入期間 令和6年4月から令和7年3月まで

書類提出期限 令和6年1月10日（水）必着

書類提出先 国立歴史民俗博物館 管理部研究協力課大学院担当（書留で郵送）
〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地 TEL：043-486-4361

アクセス

【京成電鉄線利用の場合】

京成上野駅から京成本線特急利用約55分、京成佐倉駅下車、バス約5分または徒歩約15分

【JR線利用の場合】

東京駅から総武本線快速利用約60分、佐倉駅下車、バス約15分

【自動車利用の場合】

東関東自動車道四街道ICまたは佐倉ICから約15分（無料大駐車場完備）

指導教員及び研究指導項目

- ◎ あなたの研究に合う指導教員がきっと見つかります。研究指導にかかる費用は徴収しません。
- ◎ 博物館を有する大学共同利用機関としての特性と利点を活かし、専門家の指導と、実物資料に基づく多様な分析方法の活用によって、高度な総合的能力をもつ研究者の教育を目指しています。

指 导 教 員	研 究 指 導 項 目
青木 隆浩	近現代の商家研究、社会規範研究
天野 真志	日本近世・近代の学問と政治・文化に関する研究、地域資料の保存と継承に関する研究
上野 祥史	古代東アジアの墳墓と金工品の考古学研究
内田 順子	近代日本における映像民俗学（映画技術、作品の歴史的・文化的背景、民俗学との関わり）
大久保 純一	浮世絵、江戸後期の風景表現
小倉 慶司	日本古代文献史料論
川村 清志	祭礼、民俗芸能を中心とした民俗文化
工藤 航平	日本近世地域史、民衆文化
小池 淳一	民俗信仰の史的研究、口承文芸の研究、読み書きと民俗をめぐる学際研究、日本民俗学史に関する研究
小瀬戸 恵美	自然科学的手法による歴史・文化財資料の材質分析と産地推定
後藤 真	人文情報学・特に日本史学に対して情報技術を応用した研究
齋藤 努	自然科学的な手法を用いた歴史資料の材質、物性、製作技法、原料の産地などに関する研究
坂本 稔	炭素14年代法
澤田 和人	日本の染織史
島津 美子	自然科学的手法（顕微鏡観察、元素分析など）による彩色材料の材質分析（顔料、染料など）
鈴木 卓治	博物館における研究・展示・広報を支援する情報システム（ソフト・ハード）の研究、色彩と画像の情報処理
関沢 まゆみ	社会と儀礼に関する民俗学的研究、高度経済成長と生活変化
高田 貫太	外来系の考古資料に基づく古代（主に弥生～古墳時代）の日朝関係史
田中 大喜	中世武士団・武家政権論、中世地域社会論
中村 耕作	先史社会におけるモノ・身体の象徴・認識論（主に縄文土器・葬送・家屋）
仁藤 敦史	都城制成立過程の研究、古代王権論、古代地域社会論
箱崎 真隆	年輪年代法、酸素同位体比年輪年代法、炭素14スパイクマッチ法、木材樹種同定
橋本 雄太	人文情報学、特に歴史研究や歴史教育の支援を目的としたWebシステム開発
林部 均	古代宮都の研究・古代地域社会の研究
樋浦 郷子	帝国日本の教育と宗教
樋口 雄彦	明治期の社会・文化と旧幕臣の動向
日高 薫	蒔絵を中心とする漆工芸史
福岡 万里子	幕末外交史、19世紀東アジア国際関係史、日欧交渉史
松尾 恒一	民俗宗教、民間信仰の研究、職能者の祭儀と呪術、寺社の儀礼研究、東アジアにおける異文化の接触と変容の研究
松木 武彦	古墳時代の考古学的研究、武器と戦争の考古学的研究、進化・認知科学に基づく理論考古学
松田 瞳彦	生業の技術・信仰・人の移動
三上 喜孝	出土文字資料を中心とした古代東アジア文字文化の研究
村木 二郎	中世日本の流通・技術・信仰に関する考古学的研究
山田 慎也	死と葬送儀礼の近代化に関する研究
吉井 文美	近代日本外交史・近代東アジア国際関係史
吉村 郊子	生業と環境利用の変遷に関する人類学的研究
若木 重行	金属元素同位体分析手法の開発と歴史資料研究への応用（産地・食性等）、自然学的手法による地球史・人類史の解読

※指導教員は、人事異動等により変更する場合があります。